

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

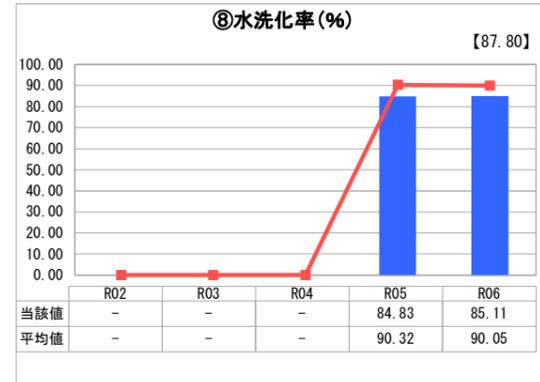
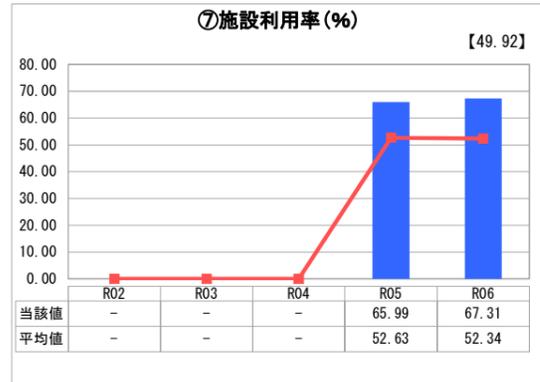
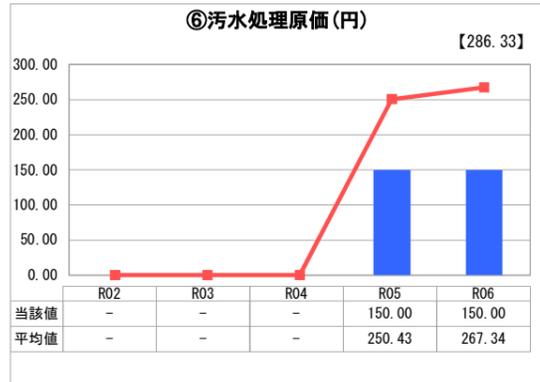
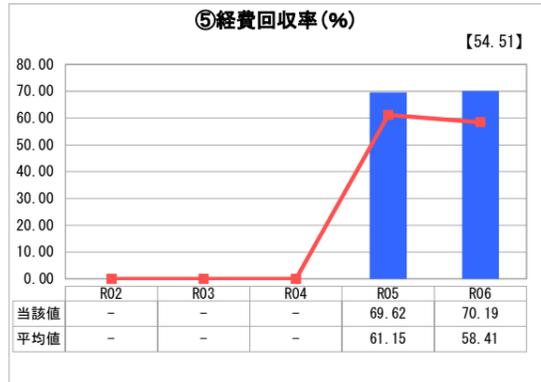
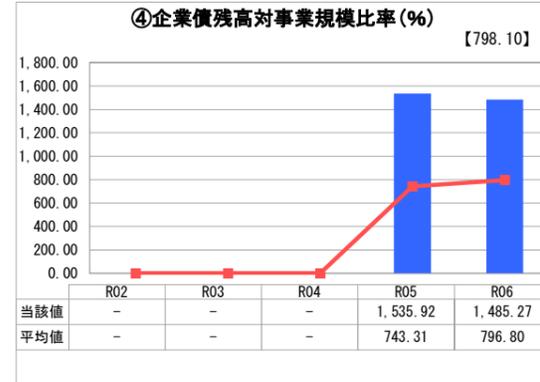
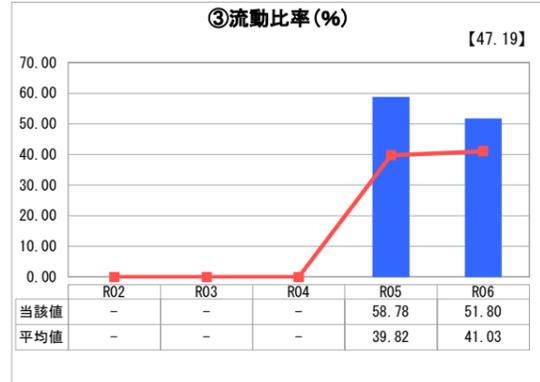
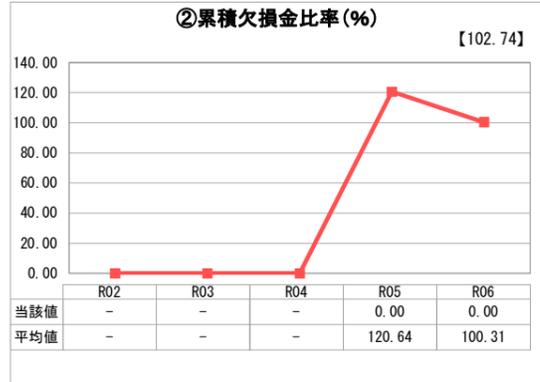
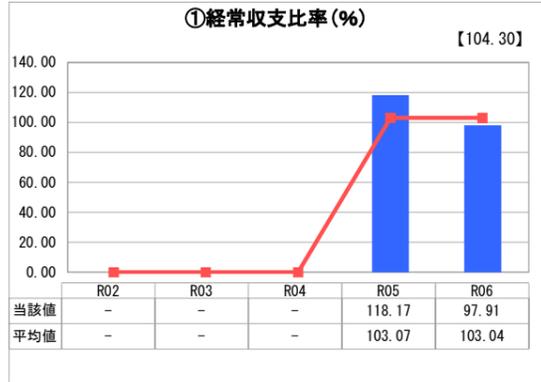
群馬県 前橋市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	79.72	8.34	76.65	2,156

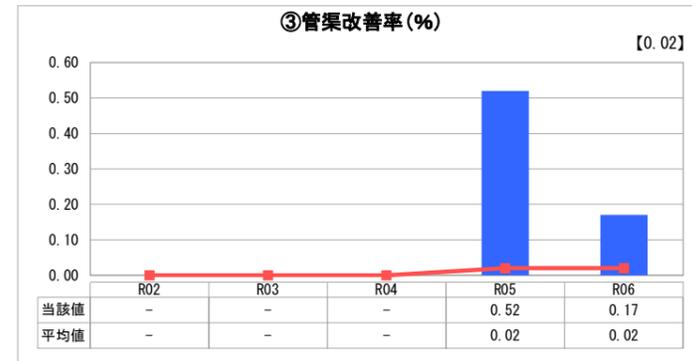
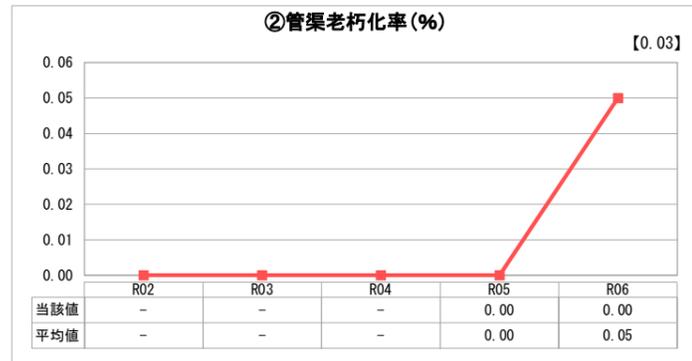
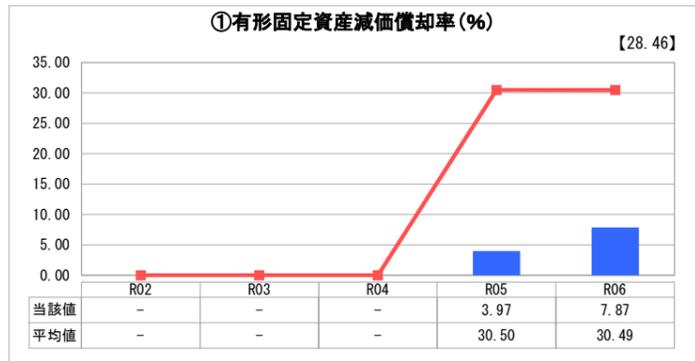
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
329,120	311.59	1,056.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,367	15.10	1,812.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を下回り、類似団体平均も下回った。安定した経営を行うため、引き続き収益の確保、費用の縮減に努める。  
 ② 累積欠損金比率は、0%となっており、引き続き収益の確保、費用の縮減に努める。  
 ③ ⑤流動比率、経費回収率は、類似団体平均は上回っているが、100%を下回っているため、引き続き収益の確保、費用の縮減に努め、さらなる改善を図る。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っている。直ちに借入を減らす必要はないものの、引き続き収益の確保、事業規模に見合った借入に努める。  
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているため、引き続き費用の縮減に努める。  
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回っているが、今後の人口減少を見込み、施設の更新の際には適正な施設規模となるよう検討する必要がある。  
 ⑧ 水洗化率は、100%を下回り、類似団体平均も下回っている。引き続き整備、啓発を進め水洗化率の向上に努める。  
 ・本市農業集落排水事業では、法適用以前より安定的な事業経営のため、一般会計から補助金を繰り入れている。これにより、経営比較分析における各種指標においては良好な経営状況と判断されるものの、実態は事業費用を経営に伴う収入のみで賄っていない状況である。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇しており、類似団体平均を上回っている。管渠老朽化率と管渠改善率の状況も踏まえ、財政計画やストックマネジメント計画に基づき、施設の改築・更新に努める。  
 ② 管渠老朽化率は、年々上昇しており、類似団体平均を上回っている。ストックマネジメント計画に基づき調査を行い、老朽化の進んだ管渠の改築・更新に努める。  
 ③ 管渠改善率は、すべての管を更新するのに50年かかるペースである2%に達しておらず、類似団体平均を下回っている。法定耐用年数を経過した管渠延長が年々上昇している中、財政計画やストックマネジメント計画に基づき調査を実施し、老朽化の進んだ管渠を優先的に改築・更新していく。

### 全体総括

・経営の健全性については、経費回収率および流動比率が100%を下回っていることから、支払能力を高めるための経営改善に努める必要がある。  
 ・経営の効率性については、類似団体との比較では効率的な経営がなされている。引き続き、収益の確保、費用の縮減に努め、さらに経営の健全性・効率性を高める。  
 ・老朽化の状況については、現在では多くの施設がまだ老朽化していないが、将来的には計画に基づいた施設の改築・更新が必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。